

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E1421016		ピアノ (Piano)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択	1	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用	後期	木2	日本語			単独							
担当教員	氏名 田中 星治 E-mail tanaka@oita-u.ac.jp 内線 7618															
授業の概要	ソナタ、もしくはそれ以上のピアノ作品を用い、高度な演奏および伴奏技法を習得する。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	ピアノの高度な技法を習得できる。															
目標2	高度な歌唱教材に対応する演奏技法を身につけることができる。															
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							7	3								
授業の内容																
1	ガイダンス															
2	高度なピアノ演奏法の考察(1) 技巧について															
3	高度なピアノ演奏法の考察(2) 表現について															
4	ピアノ楽曲分析(1) モティーフについて															
5	ピアノ楽曲分析(2) 和声について															
6	高度なテクニック習得のための実践(1) 指のメカニクについて															
7	高度なテクニック習得のための実践(2) 腕の使い方について															
8	高度な演奏表現のための実践(1) 左右のバランスについて															
9	高度な演奏表現のための実践(2) ピアノの響かせ方について															
10	表現としてのピアノの可能性について(1) 作品の解釈について															
11	表現としてのピアノの可能性について(2) バランス感覚について															
12	アンサンブルとしての伴奏の意義について(1) 調和した演奏について															
13	アンサンブルとしての伴奏の意義について(2) 呼吸を活かした表現															
14	高度なピアノ技法を活かした伴奏の実践															
15	実技試験に向けてのまとめ															
ラーニング グループ	A:知識の定着・確認	ピアノの演奏を通して、音楽表現に必要な高度な演奏技術を身につける。				工夫 その他 の	ピアノ実技なので、個人指導、およびグループ指導を行い、学生とのディスカッションの中で、解釈の可能性を探る。									
	B:意見の表現・交換	さらには楽曲の表現の可能性を模索し、作品を通して受講者の主体的な演奏技法を引き出すことを目指す。														
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	与えられた課題を前もって準備する。ハノンやエチュード等、指のトレーニングのための教材を活用すること。(10h)														
	事後学修	授業で行った内容を再確認し、事後の練習に生かす。(13h) 演奏会場で行われる演奏会にできるだけ足を運ぶこと。														
	想定時間合計	23														
教科書	任意のピアノ曲の楽譜、伴奏譜(出版社は問わない)															
参考書	そのつど指定する。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	授業への取り組み	40%										
	期末試験	60%										
	評価については、具体的な到達目標で掲げた内容について、実技試験で評価する。											
注意事項	毎日の練習の積み重ねが重要。											
備考	特になし。											
リンク												
	URL											